

令和元年 第2回（第16回）善通寺市子ども・子育て支援会議 議事録

1 日 時 令和元年8月19日（月）15時～

2 場 所 善通寺市総合会館 3階南 学習室

3 出席者 会長
委員 11名
欠席 3名

4 会議の概要

1. 保健福祉部長あいさつ
2. 議事
 - (1) 量の見込みと確保方策について
 - (2) 計画骨子について
 - (3) その他

5 資料

- ・子ども・子育て支援事業計画（第Ⅱ期）における「量の見込み」の補正について
- ・子ども・子育て支援事業計画（第Ⅱ期 令和2～6年度）骨子案

6 会議録

1. 保健福祉部長あいさつ
2. 議事
 - (1) 量の見込みと確保方策について

〔事務局〕 JMC（株）より資料「量の見込みの補正」について説明

アンケート調査結果からの国の計算式による算出について、実態から大きく乖離する事業があり、アンケート結果からの推計作業や過去の市の実績に基づき量の見込みの補正を行った。会議ではご意見をいただき計画に反映させていきたい。今回の補正で幼児教育保育の無償化の影響により、10%程度幼稚園から保育所へ移るのではないかと想定している。

〔委員〕 一時預かり事業を利用できなかった人の数は量の見込みに反映されているのか。

〔事務局〕 利用出来なかった人の数を確認する。

〔委員長〕 保育所と幼稚園の機能を持った認定こども園について、量の問題は地方では何とかカバーできている現状があるため、今後は選択肢の幅を広げる質の観点から民間による動きがあるように思う。

〔委員〕 市内の保育所に通っている子どもは、年中から幼稚園に通い始める子が多

い。自身の子どもが通っている保育所では、今年は3歳以上の子どもが多いが、保育所での行事内容も年齢に合わせた行事になるようになっていく。

〔委員長〕 今後は、保育所的な部分と幼稚園的な部分とを接続できるような取り組みが必要である。

－ 確保方策について承認 －

(2) 計画骨子について

〔事務局〕 JMC（株）より資料「骨子案」について説明

第1章は、計画の基本的な考え方として、策定の趣旨、背景、法的な根拠、計画の期間、策定体制について。第2章で子ども・子育てを取り巻く現状として、人口の推移等、子育てに関するアンケート調査結果の概要やこれまでの子育て支援の主な取り組みについて。第3章で計画の基本的な理念、施策の展開として、基本理念、計画の基本的な視点、方向性、施策の展開について。第4章以降では、施策の展開に応じて考えていくこととしたい。

〔委員長〕 引きこもりや不登校については、地域で抱える問題になってきているが、義務教育が終わった後の関わりがなくならないように、計画の中に文言として付け加えてもらいたい。

〔委員〕 スクールソーシャルワーカーは何名か。

〔事務局〕 今年から1名増員し3名である。

〔委員長〕 福祉と教育の連携として、公立私立を問わず一体的な連携の在り方を考えていく必要がある。

〔委員〕 小学1年生になる児童は、体験入学を行い一緒に活動できる場をつくっている。

〔事務局〕 平成28年度からは幼保の連携強化事業も行っている。

〔委員長〕 全体的に分かりやすいものにするため、具体項目・推進施策についての頁表記や語句の説明などの見え方の工夫をお願いしたい。

－ 骨子案について承認後議事を終了 －

－ 閉会する －